

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 東京都世田谷区  
 本事業の担当部局名 子ども・若者部子ども家庭課子ども・子育て支援

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援							
個別事業名	世田谷区乳幼児ふれあい体験事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	令和2年度			
総事業費(A)(円)	3,586,250	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	3,586,250			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	3,586,250							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	26,250	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	26,250	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計		
	総事業費	0	0	0	3,560,000	3,586,250		
	対象経費支出予定額	0	0	0	3,560,000	3,586,250		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通                  「子どもが権利の主体として、一人ひとりの健やかな育ちが保障され、子ども・若者が自分らしく幸せな今を生き、明日からもよい日と思える社会を実現する」ことを目指し、地域全体で育ちと成長、子育てを支えるための取組みを進め、安心して妊娠・出産・子育てができ、多様な価値観のもと結婚や出産等の希望する方の願いが実現できる環境を整備することにより、自分らしく幸せに暮らせる社会をつくることで「世田谷で子育てしやすい」と実感する区民を増やし、区として持続可能なまちづくりを進め、少子化対策に資することにつなげていく。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;                  子どもを生み育てることの意義を知り、子どもや家庭の大切さを理解するための機会を提供し、生徒と乳幼児親子が交流することで、中学生が赤ちゃんを愛しく思う心を養い、赤ちゃんの親からの話も聞くことで、将来親となる準備につなげる。また、乳幼児の親も自身の体験を伝える機会を通じ、地域に貢献する意識の醸成を図る。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	乳幼児ふれあい体験事業	<p>事業実施を希望する区内の小学校～高校等と要件を満たした子育て支援団体(NPO法人や一般社団法人、任意団体等)が連携して、学校で児童・生徒と乳幼児及びその保護者とのふれあい体験を実施する。区は、乳幼児ふれあい体験事業にかかる人件費や報償費、消耗品費、保険料、運搬費等の費用の一部を補助することで、団体による活動を支援する。団体は団体募集要項により募集し、承認する。また、団体を育成し、ノウハウを継承するための研修等を区が実施する。</p> <p>乳幼児とふれあう体験を通じて子どもや家庭の大切さを理解し、赤ちゃんの親とも交流することで子育てに対する関心を深めることにより、児童・生徒が将来親となる準備につなぐことができるよう支援する。</p> <p>【「委託」ではなく「補助」で実施する理由】                  学校によってさまざまな特色があることから実施に向けた調整内容が異なるため、実施団体が柔軟に対応することによって各学校に適した内容かつ充実した内容で事業運営ができるように補助で実施する。</p> <p>【開催回数等について】                  &lt;R7実績(R8年3/9時点)&gt;                  ・開催回数(実施校数):24校・87コマ/参加人数(生徒数):約2,875人                  →R8年度は現時点で26校実施希望あり(年度途中の実施希望もあることから予算は27校)、生徒参加人数もR7年度から増加の約3,000人を見込む</p>					
<p>&lt;過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)&gt;                  ・R5年度より要望のあったほっとスクールでの開催について、R7年度に1校実施した。そこに通う生徒の環境に配慮した授業が必要であることがわかったため、区として子育て支援団体との研修等において生徒への配慮事項、支援体制、声かけ等について理解を深められるようにする。                  ・R8年度には多様な学びの学校が新設され、新たに開催要望もあるため、団体との連携を密にし、安全に開催できるような体制を検討する。</p>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	地域子育て支援拠点(ひろば)事業の拡充		か所	83 (R11年度)	73 (R6年度)
	ライフプランの選択肢を増やす機会の充実		回	26 (R11年度)	23 (R6年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			0.93 (R6年)	
	婚姻件数		件	10,204 (R6)	
	婚姻率			11.4 (R6)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	乳幼児ふれあい体験事業	校	26 (R8年度)	24 (R6年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	-	-
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	④	親や子育てへの理解が深まったと答えた参加者の割合	%	90 (R8年度)	86 (R6年度)
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					